

固定資産税、都市計画税
第1期分納期限は4月30
日までとなっています。
期限内に、早目に納めま
しょう。

さが

No.543

昭和56年

4月号

(毎月1日発行)

発行所 佐賀市役所(電話代表②3151)
〒840 佐賀市神野町331番地の3
編集人 総務部長

	人口	166,069人	前月比	+157人
3月1日	男	79,541人		+97人
現在	女	86,528人		+60人
	世帯	52,280		+46

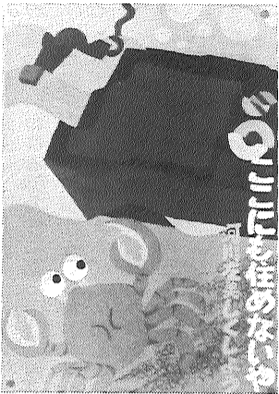
きれいな川

市民の汗と協力で

川を愛するポスター・標語 入選作決まる

川を愛する週間を前に募
集していた「河川浄化ポス
ター」や「川を愛する標語」
の入選作品が決まり、三月
二十九日の川の日に表示式
がありました。

【河川浄化ポスター】
金賞 深川賢一(若楠小
一年) 野田英雄(赤松小二
年) 横尾智恵(北川副小三
年) 奥村慎也(本庄小四年)
江頭晃子(附属小五年) 斉
藤美香子(勤興小六年) 永
淵京子(金泉中一年) 志岐
裕之(金泉中二年) 本山美



志岐裕之さんの作品

川を愛するポスター・標語 入選作決まる

津子(城東中三年) 鈴木努
(附属養護学校)
銀賞 小(一) 西村なお
子、水町研一(小二) 陣ゆ
ういちろう、石井隆子(三

年 原光亨、中原邦明(四
年) 安東英人、尾中重矢
(五年) 塚部貴子、江副彩
子(六年) 千々岩真澄、横
尾康史(中一) 藤井友宏、
山田清子(中二) 前山恭子、
中島あけみ(中三) 峯京子、
中西律子(養護学校等) 本
田まゆみ、中
島みゆき、藤
戸かおる、山
本将人
銅賞 小(一) 俣野裕
介、石井崇
武藤美和子
(小二) 木須
ひろみ、今泉

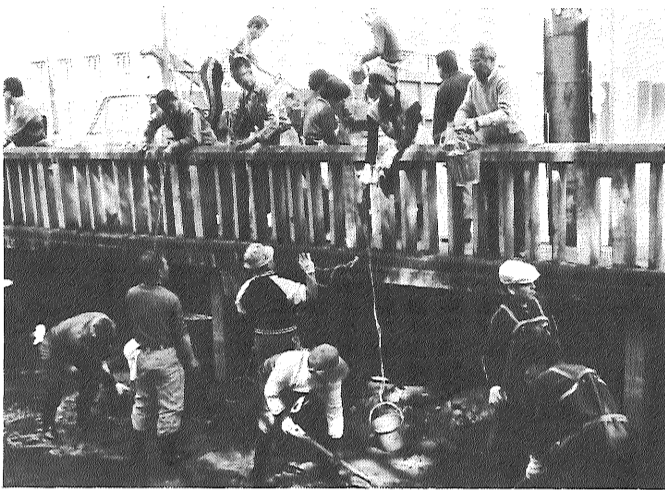
ゆうじ、早瀬伸也(小三)
真崎美佐子、福地弘、石丸
淳也(小四) 塚原直樹、古
賀悦子、朝永和洋(小五)
辻田みき子、吉田桂、小宮
聡子(小六) 大塚由喜、小
野和子、久永憲(中一) 真
田京子、国武晶子、庄野浩
子(中二) 中野優子、橋岡
貴美子、平井華子(中三)
荒木晴美、加藤昌子、平野
月代(養護学校等) 田中順
二、熊谷直俊、野見山かほ
る

すな 流れの青信号(八戸
溝二丁目、中村敏彦) 汚
すまい 川はわが住む町の
顔大財六丁目、北島正夫
捨てません みんなの川で
すいのちです(今宿町、
角谷秀雄) 埋立は 治水
の敵だ 水害だ(鍋島町、
東秀樹) 生命ある川だ
汚さず 埋立てず(天祐団
地、小森ひとみ)

佳作 本村博子(本庄町)
角谷秀雄(今宿町) 御厨あ
い子(長瀬町) 中山征一郎
(末広二丁目) 前田映子(嘉
瀬町) 森敏恵(材木二丁目)
夏秋伸隆(神野西二丁目) 牛
島信之(北川副町)。

【川を愛する標語】
入選 住む人の 心を映
す 清い川(久保泉町、山
口政夫) いつまでも 消

【個人の部】
森広次さん(水ヶ江一丁
目) : 昭和四十一年から、



松原川を清掃するみなさん



スッキリとした木下水系の流れ

佐賀には昔から川干と
いうて、春に川さらえをす
る慣習がありますが、最近
各地域で川の浄化が真剣に

話され、川の清掃が実施さ
れていきます。
三月二十二日に、松原川
をきれいにしようと、地元
自治会の皆さんと青年会議
所の皆さんが協力して、川
さらえをしました。

また、モデル水系に指定
された大覚寺、木下井樋水
系では、市のモデルだから
年間を通じて川の浄化に取
り組んでいこうと一生懸命
きれいにすることは当然の

【団体の部】
上多布施中部自治会(山
崎利八会長) : 昭和五十年
から、毎年春秋二回、町区
内を流れる全水路について
ゴミ、泥土あげを実施され
ています。特に秋の清掃日
は全世帯から参加し、終了
後、全員で野外懇談会を催
して積極的に町区民の親睦
を図るなど、地域で河川の
浄化に努められています。

【個人の部】
深川善治さん(白山一丁
目) : 勸興校区の衛生実践
本部副部長として校区内
の環境衛生の向上に努力さ
れると共に、昭和四十六年
から、毎朝、町区内を流れ
る多布施、木下井樋水系を
巡視され、ゴミ、泥土あげ
を自ら実践されています。

大石忠さん(神野町) :
新家自治会長として、町区
民の河川浄化意識の向上に
努力され、昭和五十年から
毎月一回、町区内の水路の
しゅんせつを自ら実践され
ています。

島本米子さん(中央本町)
: 家庭の主婦として家事に
従事するかわらわ、昭和四
十六年から、毎週一回町内
を流れる小林井樋水路の
しゅんせつをされ、手造り
のゴミあげ用具も考案し、
活用されております。

清い流れをと 排水浄化に高い関心

「川を愛する週間」に、市内の河川、水路は、みちがえるほどきれい
になっています。これは、市民の皆さん一人一人が川の浄化排水に関
心をもたれ「こんな汚ない川ではないか。きれいにせんば」と率先して
河川浄化に協力されたからです。市でも河川の浄化、排水対策に力を入
れています。また川の日(三月二十九日)には、ポスター、標語の入選
者、河川の浄化に尽くされた団体、個人の表彰を行いました。



小雨の中作業される九電職員の方たち

【個人の部】
池田寿人さん
南松原自治会

【個人の部】
元町自治会
伊藤仁七さん

【個人の部】
原 松次さん
大財六丁目自治会

【個人の部】
最近約三百戸の新築団地
ができて川も汚れがひどく
なり、もう一度昔の清流を
とりもどしたいと、この機
会に、全町区から一世帯一
人ずつ出て川の清掃をやら
うと呼びかけました。町内
のまとまりときれいな川を
めざしています。

与賀町自治会などを表彰

佐賀市水対策市民会議で
は、河川浄化に功労のあつ
た団体、個人を川の日(3
月29日)に表彰しました。

【団体の部】
上多布施中部自治会(山
崎利八会長) : 昭和五十年
から、毎年春秋二回、町区
内を流れる全水路について
ゴミ、泥土あげを実施され
ています。特に秋の清掃日
は全世帯から参加し、終了
後、全員で野外懇談会を催
して積極的に町区民の親睦
を図るなど、地域で河川の
浄化に努められています。

【個人の部】
深川善治さん(白山一丁
目) : 勸興校区の衛生実践
本部副部長として校区内
の環境衛生の向上に努力さ
れると共に、昭和四十六年
から、毎朝、町区内を流れ
る多布施、木下井樋水系を
巡視され、ゴミ、泥土あげ
を自ら実践されています。

【個人の部】
大石忠さん(神野町) :
新家自治会長として、町区
民の河川浄化意識の向上に
努力され、昭和五十年から
毎月一回、町区内の水路の
しゅんせつを自ら実践され
ています。

【個人の部】
島本米子さん(中央本町)
: 家庭の主婦として家事に
従事するかわらわ、昭和四
十六年から、毎週一回町内
を流れる小林井樋水路の
しゅんせつをされ、手造り
のゴミあげ用具も考案し、
活用されております。

九州電力より お知らせ

省エネルギーの時代です。
『婦人電気教室』へどうぞ!!

ご家庭で上手に電気をお
使いいただくためには、ち
よつとした電気の知識が大
変お役にたちます。

ただいま第26期の会員募
集をおこなっておりますの
でお気軽にお申し込みくだ
さい。

申し込みの方法

つぎのどちらかを電話でお申し
込みください。
●午前の部(10時~12時)
●午後の部(13時30分~15時30分)

期間

6ヵ月間……(5月開講)

会費……無料

募集締切……4月20日(月)

満員になり次第締め切りますの
でご了承下さい。

終講者の特典

- 施設見学会の実費案内(一泊一日)
- 趣味の会実費入会

佐賀市松原町一丁目二の三五
商工会館一階
九州電力佐賀サービスセンター
電話(24) 二二五一(代表)
(23) 四七〇八(直通)



基盤づくりへ

208億5800万円

佐賀市総合計画の見直し作業を行います。本市の行財政は、昭和四十二年に策定された総合計画に基づいて運営されてい

ながらも方向の転換が迫られています。そのため、本市でも、政策体系と具体計画の改訂が必要となり、現計画の長所を踏まえながら、新しい時代に適合するよう、昭和五十八年度を始期とする総合計画の策定に着手します。

「まちづくり」を目指し、次の事業を行うと共に、都市計画と一般市道関連事業を推進してまいります。

総合計画の見直しと新しい「まちづくり」の推進

昭和五十六年度の市の予算が決まりました。当初予算額は、一般会計約二百八億五千八百万円、特別会計、企業会計を合わせて、総額で約三百六十一億六千二百万円です。一般会計では前年度の当初予算と比較して、〇・三%の減少ですが、これは前年度のごみ焼却施設等の大型事業の完了に伴い対比的に減ったもので、実質的には前年度比七・五%の増加となっています。財政の健全化と行政基盤の確立を図っていく中で、五十六年度は主な重点施策として、佐賀市総合計画の見直し、生活環境の整備、新しい「まちづくり」のための方策の推進、商業の振興、観光施策の推進、農林水産業の振興、福祉対策の開発と推進、教育文化の振興、国民健康保険事業の運営健全化対策の研究、交通事業再建計画の推進の十項目をかねてまいります。

都市計画街路事業費と

都市計画街路事業費として、八戸溝線、東高木線等のほか駅前区画分5号線等の事業費で約六億七六〇〇万円、道路新設改良費約二億八四〇〇万円、道路維持費約一億五五〇〇万円などです。都市公園整備等に約六三〇〇万円、市営住宅建設および維持管理費に約三億九〇〇万円があります。

農林水産業の振興

農業振興の基盤となるほ場整備事業は、嘉瀬地区の本年度着工など、方針に沿って推進してまいります。ほ場整備の前に行う国土調

施政方針

昭和五十六年度の市政運営の基本となる市長の施政方針のあらましをご紹介します。

「活力ある、誇りある佐賀市」づくりを目指す

私は「活力ある佐賀市」「誇りある佐賀市」づくりを目指して、市政発展のために取り組んでいます。このような都市像を実現するために、市民の皆さんの市政参加のもと、地域社会の輪を通じての連帯感の上に、それぞれの責任を分担しあい、佐賀市の発展に努力する意識を高めあつて、共に考え、共に行動する姿勢を前進させなければなりません。

な財源の調整により足腰の強い、いわゆる弾力性に富んだ健全財政の佐賀市を築きあげたいと思っております。私は、市長就任以来、常務の影響力をうけ、本市の財政運営は、年々増大し多様化する行政需要への対応は十四年度以後、財政の立て直しを第一義としてまいし、決して容易ではありません。

な財源の調整により足腰の強い、いわゆる弾力性に富んだ健全財政の佐賀市を築きあげたいと思っております。私は、市長就任以来、常務の影響力をうけ、本市の財政運営は、年々増大し多様化する行政需要への対応は十四年度以後、財政の立て直しを第一義としてまいし、決して容易ではありません。

都市環境の整備

道整備事業と河畔公園整備事業の促進の市内レクリエーションエリアの設定案の作成、都市計画街路、一般市道関連事業の推進です。



9月開校をまつ西与賀小学校

学校施設の充実を図ります。若楠小の校舎増築、嘉瀬小の校舎改築費に約三億五七〇〇万円、西与賀小と北川副小の屋内体育館建設等に約二億九四〇〇万円などです。

教育文化の振興

良工事に約三〇〇万円、埋蔵文化財の調査発掘

福祉対策の開発と推進

記念スポーツ大会を開催

河川排水の抜本的対策へ一歩

生活環境の整備

河川の排水と浄化に力点を置き、積極的に推進してまいります。排水対策としては、西部地区では佐賀南部たん水防除事業が完成し、さらに佐賀江川、八田江川が、激甚災害対策特別緊急事業の対象河川に採択され、市民が長い間渴望していた河川排水の抜本対策への実現

社会教育活動の充実を図るため

高木瀬の両公民館の増築、その他の公民館の整備に約一九〇〇万円を計上しています。

「佐賀の民家」の発刊、埋蔵文化財の調査、発掘整備の経費に約四六〇万円、幼稚園就園奨励費に約一億九三〇〇万円などです。

電話の移転工事の申出は、お早目に
春は転勤・転宅のシーズン

■転居先、引越日が決まったら、至急電報電話局の窓口で移転工事の予約申込をしてください。
お問い合わせは ☎24-4911へ

祝電は3日以前に打つと150円割引
結婚・卒業・入学のシーズン

祝電は配達希望日の10日前から予約受付をしています。3日前までにお打ちになると150円お安くなります。電話でお打ちになる時は115番へ
お問い合わせは ☎23-3605へ

佐賀電報電話局

